

C 卒業後の状況調査

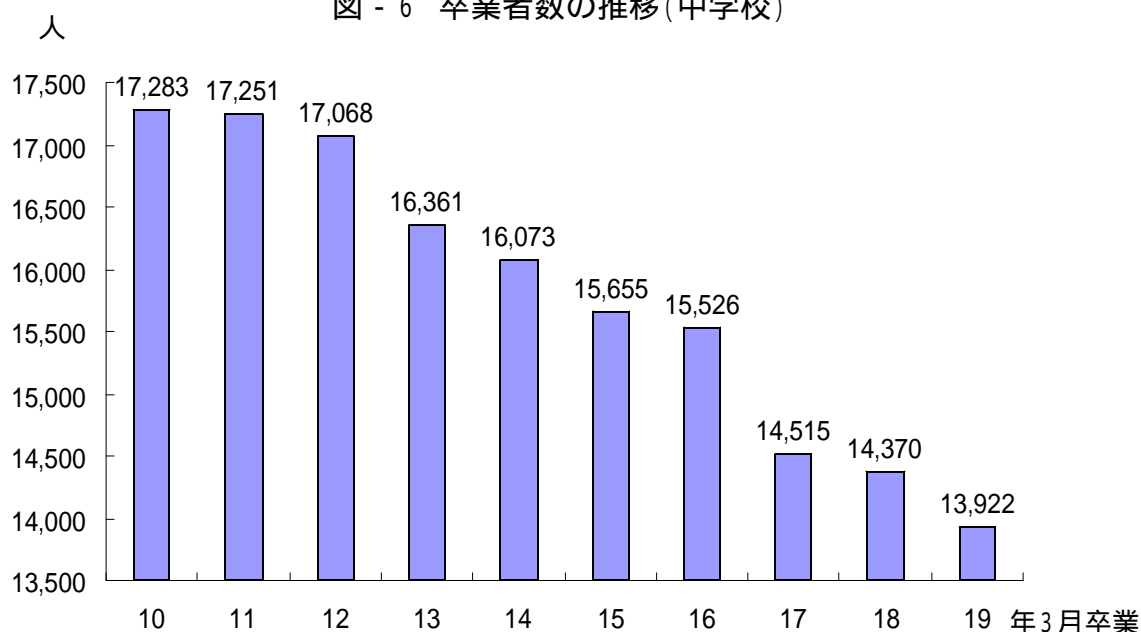
1. 中学校卒業生とその進路状況

(1) 卒業生数

平成19年3月の中学校卒業生数は13,922人(男子7,220人、女子6,702人)で、前年より448人(男子89人減、女子359人減)、3.1%減少しました。

卒業生を進路別にみると、高等学校等進学者(進学しながら就職している者を含む。以下同じ。)は13,675人(男子7,090人、女子6,585人)で、卒業生全体に占める割合は98.2%(前年98.0%)、専修学校(高等課程)進学者は9人(男子5人、女子4人)で0.1%(前年0.0%)、専修学校(一般課程)等入学者は1人(男子1人)で0.0%(前年0.0%)、公共職業能力開発施設等入学者は12人(男子12人)で0.1%(前年0.2%)、就職者は65人(男子41人、女子24人)で0.5%(前年0.6%)、左記以外の者は160人(男子71人、女子89人)で1.1%(前年1.2%)、死亡・不詳は0人で0.0%(前年0.0%)となっています。

図 - 6 卒業生数の推移(中学校)



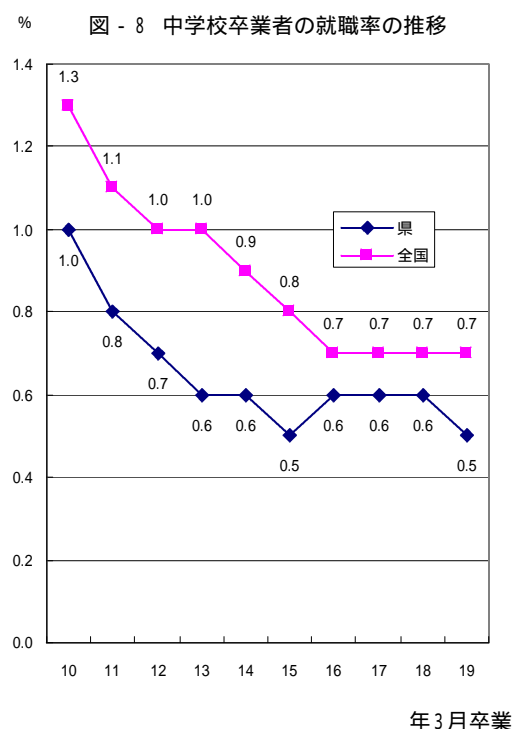
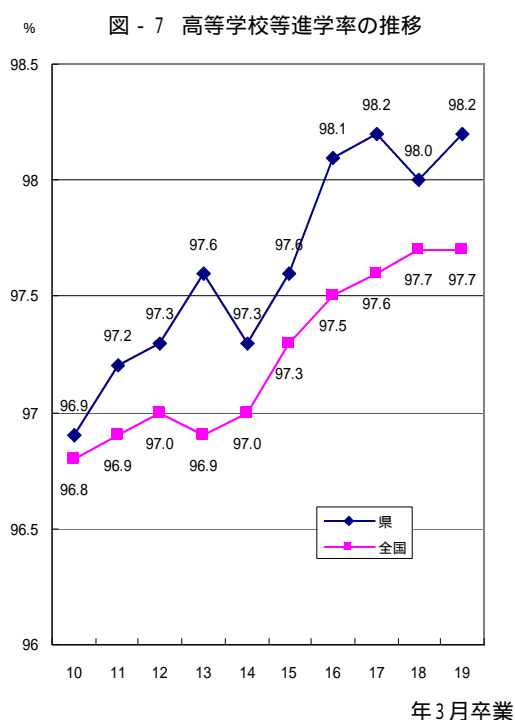
(2) 高等学校等進学者数

高等学校等進学者は13,675人(男子7,090人、女子6,585人)で、前年より409人減少(男子56人減、女子353人減)しました。高等学校等進学率(卒業生全体に占める高等学校等進学者の割合)は98.2%で、前年より0.2ポイント上昇しました。これを男女別にみると、男子は98.2%で前年より0.4ポイント上昇、女子は98.3%で前年と同率でした。

また、全国平均97.7%(男子97.4%、女子98.0%)と比べると、全体で0.5ポイント、男子で0.8ポイント、女子で0.3ポイントそれぞれ上回りました。高等学校通信制課程への進学者を除く高等学校等進学率は96.7%で、前年より0.4ポイント上昇しました。

高等学校等進学者の内訳をみると、高等学校の全日制課程13,020人(高等学校等進学者全体の95.2%)、定時制課程268人(同2.0%)、通信制課程213人(同1.6%)、高等専門学校68人(同0.5%)、特別支援学校の高等部106人(同0.8%)となっています。また、これらのうち、他県への高等学校等進学者は885人(男子476人、女子409人)で、高等学校等進学者全体の6.5%を占めています。

次に、高等学校等への入学志願者数(ただし、高等学校の別科、通信制課程および特別支援学校高等部別科を除く)は13,503人(男子7,011人、女子6,492人)で、卒業生全体に占める割合(高等学校等進学志願率)は97.0%となり、前年より0.4ポイント上昇しました。さらに、この入学志願者のうち実際に高等学校等へ進学した者(13,462人)の割合(入学率)は99.7%で、前年と同率でした。



(3) 専修学校(高等課程)進学者数

専修学校(高等課程)進学者は9人(男子5人、女子4人)で、前年より2人増加(男子2人増)しました。卒業生全体に占める割合は0.1%で、前年より0.1ポイント上昇しました。

(4) 専修学校(一般課程)等入学者数

専修学校(一般課程)等への入学者は1人で、前年と同数でした。

(5) 公共職業能力開発施設等入学者数

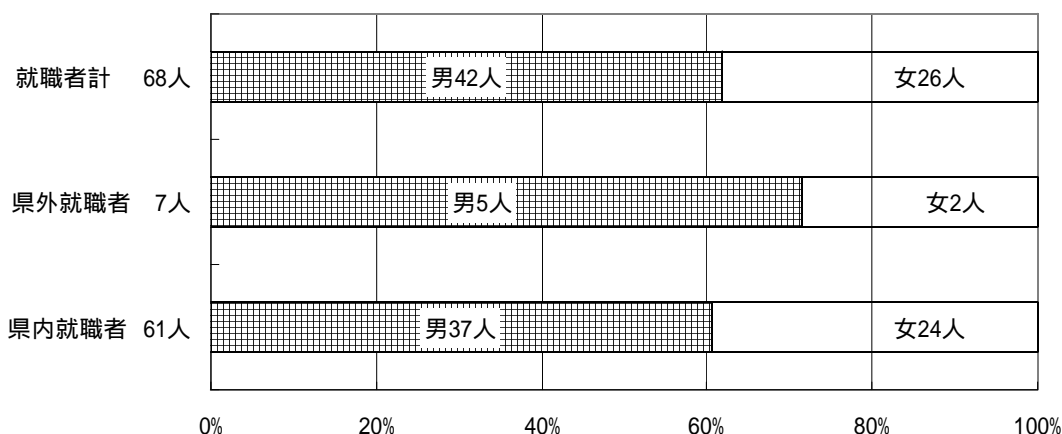
公共職業能力開発施設等への入学者は12人(男子12人)で、前年より11人減少(男子10人減、女子1人減)しました。卒業生全体に占める割合は0.1%で、前年より0.1ポイント低下しました。

(6)就 職 者 数

就職者 65人(男子41人、女子24人)に、高等学校等に進学しながら就職している者(高等学校等進学就職者) 3人(男子1人、女子2人)を加えた就職者総数は 68人(男子42人、女子26人)で、前年より21人減少(男子13人減、女子8人減)しました。

卒業生全体に占める割合(就職率)は0.5%(男子0.6%、女子0.4%)で、前年より0.1ポイント低下(男子0.2ポイント低下、女子0.1ポイント低下)しました。

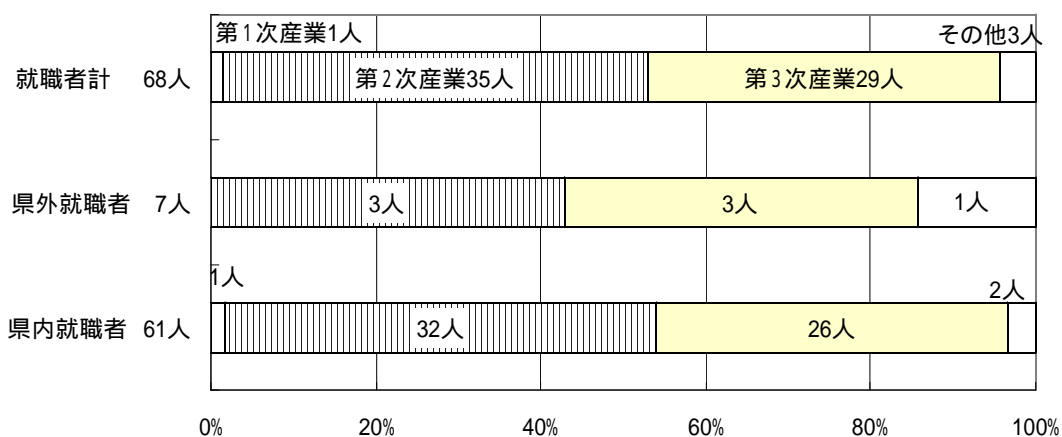
図 - 9 就職先別・男女別就職者数(中学校)



また、就職者のうち県内に就職した者は61人(男子37人、女子24人)、県外に就職した者は7人(男子5人、女子2人)でした。県外就職率は10.3%となり、前年より3.6ポイント上昇しました。

次に、就職者を産業別にみると、第1次産業に就職した者は1人で就職者全体に占める割合は1.5%(前年2.2%)、第2次産業に就職した者は35人で51.5%(同59.6%)、第3次産業に就職した者は29人で42.6%(同29.2%)等となっています。

図 - 10 産業別就職者数(中学校)



2. 高等学校卒業生とその進路状況

A 全日制・定時制課程

(1) 卒業生数

平成19年3月の高等学校卒業生数は13,211人(男子6,819人、女子6,392人)で、前年に比べ14人(男子125人増、女子139人減)、0.1%減少しました。

卒業生を進路別にみると、大学等進学者(進学しながら就職している者を含む。以下同じ。)は7,333人(男子3,690人、女子3,643人)で、卒業生全体に占める割合は55.5%(前年53.6%)、専修学校(専門課程)進学者は2,092人(男子914人、女子1,178人)で15.8%(前年16.9%)、専修学校(一般課程)等への入学者は581人(男子465人、女子116人)で4.4%(前年4.6%)、公共職業能力開発施設等入学者は88人(男子84人、女子4人)で0.7%(前年0.8%)、就職者は2,302人(男子1,320人、女子982人)で17.4%(前年16.9%)、一時的な仕事に就いた者は277人(男子82人、女子195人)で2.1%(前年2.4%)、左記以外の者は538人(男子264人、女子274人)で4.1%(前年4.8%)、死亡・不詳は0人(前年0人)となっています。

図 - 11 卒業生数の推移(高等学校)



(2) 大学等進学者数

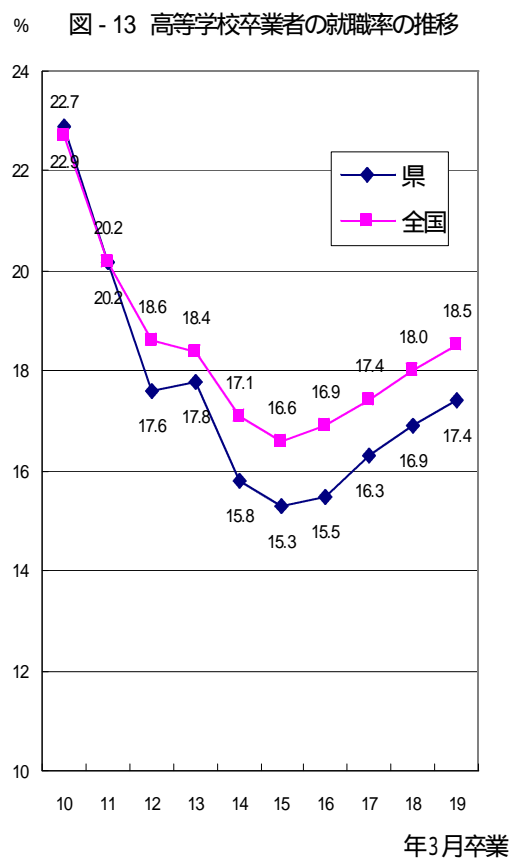
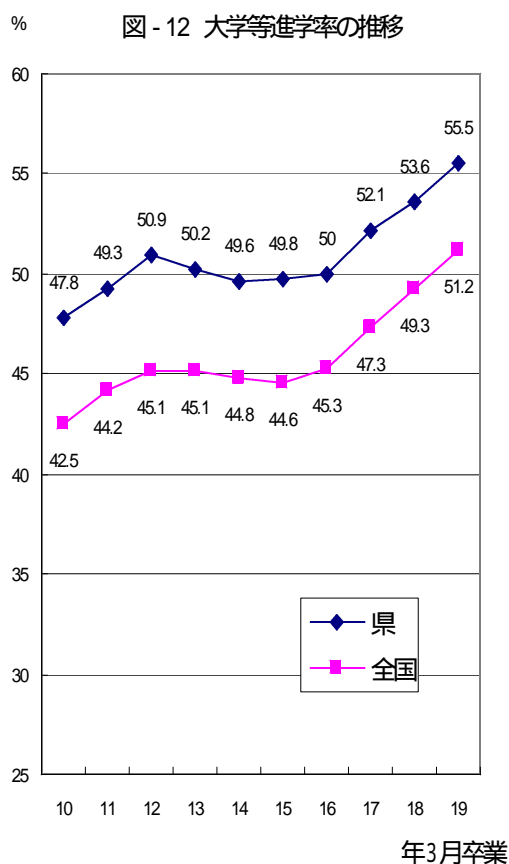
大学・短期大学等へ進学した者は7,333人(男子3,690人、女子3,643人)で、前年より249人増加(男子216人増、女子33人増)しました。大学等進学率(卒業生全体に占める大学等進学者の割合)は55.5%で、前年より1.9ポイント上昇しました。これを男女別にみると、男子は54.1%で前年より2.2ポイント上昇し、女子は57.0%で前年より1.7ポイント上昇しました。全国平均の51.2%(男子50.0%、女子52.5%)と比べると、全体で4.3ポイント、男子で4.1ポイント、女子で4.5ポイントそれぞれ上回りました。大学等進学率は、全国で10位(前年10位)に位置しています。

大学等進学率の全国順位		
第1位	京都府	63.0%
第2位	東京都	61.4%
第3位	広島県	59.4%
第4位	兵庫県	58.0%
第5位	愛知県	57.7%
第10位	滋賀県	55.5%
第43位	鹿児島県	39.2%
第44位	熊本県	38.9%
第45位	北海道	38.4%
第46位	岩手県	37.5%
第47位	沖縄県	33.5%

大学等進学者の内訳をみると、大学学部5,923人(進学者全体の80.8%)、短期大学本科1,408人(同19.2%)、大学・短期大学の通信教育部2人(同0.0%)となっています。

また、これを男女別にみると、男子では大学学部への進学者が3,539人で、大学等進学者全体の95.9%、短期大学本科への進学者が149人で4.0%、女子では大学学部への進学者が2,384人で65.4%、短期大学本科への進学者が1,259人で34.6%となっています。

卒業者のうち大学学部・短期大学本科への入学志願者は、大学学部が6,764人(男子4,152人、女子2,612人)、短期大学本科が1,436人(男子155人、女子1,281人)の合計8,200人(男子4,307人、女子3,893人)で、そのうち、実際にその学校へ入学した者の率(入学率)は、大学学部が87.6%、短期大学本科が98.1%となっています。



(3) 専修学校(専門課程)進学者数

専修学校(専門課程)進学者は2,092人(男子914人、女子1,178人)で、前年より148人減少(男子49人減、女子99人減)しました。卒業者全体に占める割合は15.8%で、前年より1.1ポイント低下しました。

(4) 専修学校(一般課程)等入学者数

専修学校(一般課程)等への入学者は581人(男子465人、女子116人)で、前年より24人減少(男子37人増、女子61人減)しました。卒業者全体に占める割合は4.4%で、前年より0.2ポイント低下しました。

専修学校(一般課程等)

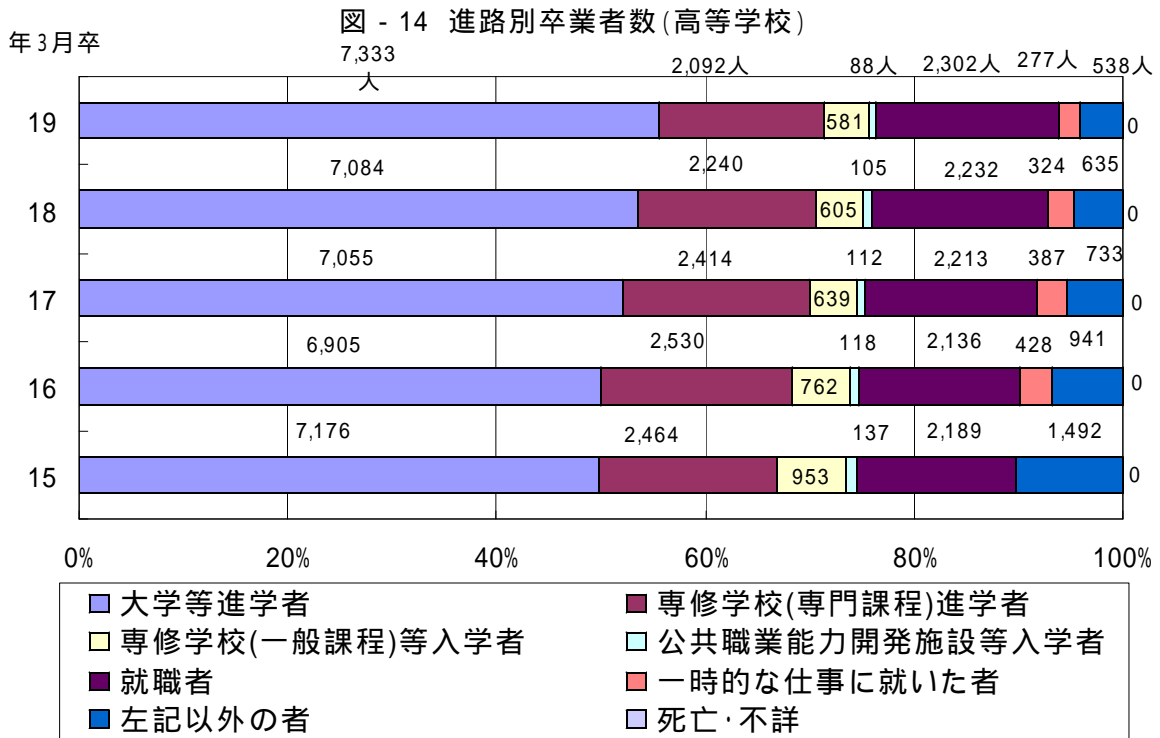
専修学校(一般課程等)への入学者は 85人(男子71人、女子14人)で、前年より13人増加(男子21人増、女子8人減)しました。卒業生全体に占める割合は0.6%で、前年より0.1ポイント上昇しました。

各種学校

各種学校への入学者は496人(男子394人、女子102人)で、前年より37人減少(男子16人増、女子53人減)しました。卒業生全体に占める割合は3.8%で、前年より0.2ポイント低下しました。

(5)公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業訓練施設等への入学者は 88人(男子84人、女子4人)で、前年より17人減少(男子6人減、女子11人減)しました。卒業生全体に占める割合は0.7%で、前年より0.1ポイント低下しました。



(6)就職者数

就職者数は2,302人(男子1,320人、女子982人)で、大学・専修学校等へ進学・入学しながら就職している者が2人であることから、就職者総数は2,304人となっています。前年より72人増加(男子4人増、女子68人増)しました。

就職率は17.4%(男子19.4%、女子15.4%)で前年より0.5ポイント上昇しました。全国平均の18.5%(男子21.2%、女子15.8%)と比べると、全体で1.1ポイント下回りました。就職率は、全国で35位(前年34位)に位置しています。

就職率の全国順位		
第1位	佐賀県	32.8%
第2位	青森県	32.7%
第2位	宮崎県	32.5%
第4位	岩手県	31.5%
第4位	秋田県	31.5%
第35位	滋賀県	17.4%
第43位	大阪府	12.5%
第44位	奈良県	11.8%
第45位	神奈川県	9.7%
第45位	京都府	9.7%
第47位	東京都	7.6%

産業別就職者数

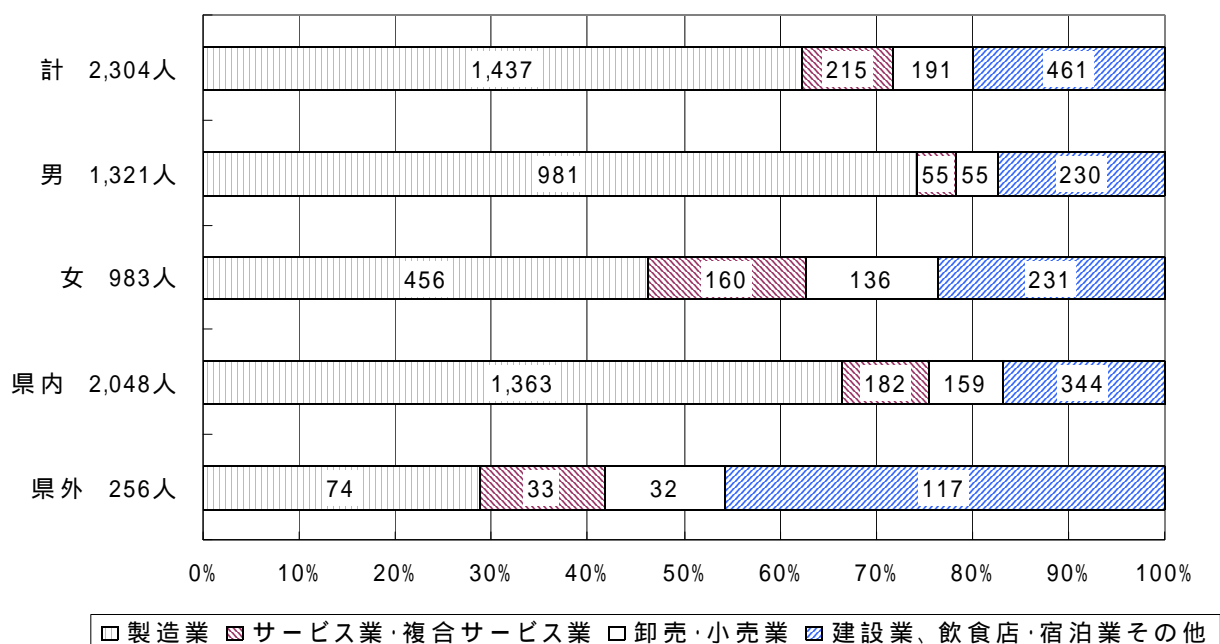
産業別に就職者数をみると、製造業 1,437人(就職者全体に占める割合62.4%)、サービス業 215人(同9.3%)、卸売・小売業 191人(同8.3%)、建設業 71人(同3.1%)、飲食店、宿泊業 93人(同4.0%)、医療、福祉 80人(同3.5%)、運輸業 88人(同3.8%)、公務 59人(同2.6%)などが主なものとなっています。

次に、男女別にみると、男子では製造業74.3%、建設業4.8%、サービス業、卸売・小売業4.2%などとなっています。これに対し、女子では製造業46.4%、サービス業16.3%、卸売・小売業13.8%となっており、男子と比べサービス業、卸売・小売業の比率が大きくなっています。

さらに、県内・県外別にみると、県内では、製造業が66.6%と6割以上を占め、次いで、サービス業が8.9%、卸売・小売業が7.8%の順となっています。

これに対し、県外では製造業が28.9%、サービス業、運輸業が12.9%、卸売・小売業が12.5%となっています。

図 - 15 産業別就職者数(高等学校)



職業別就職者数

職業別に就職者数をみると、生産工程・労務作業者 1,366(就職者全体に占める割合59.3%)、サービス職業従事者 277人(同12.0%)、事務従事者 224人(同9.7%)、販売従事者 142人(同6.2%)などが主なものとなっています。

また、このうち最も多い生産工程・労務作業者の内訳をみると、製造・制作作業者 1,308人(構成比95.8%)、採掘・建設・労務作業者 45人(同3.3%)、定置機関運転・建設機械運転・電気作業者 13人(同1.0%)となっています。

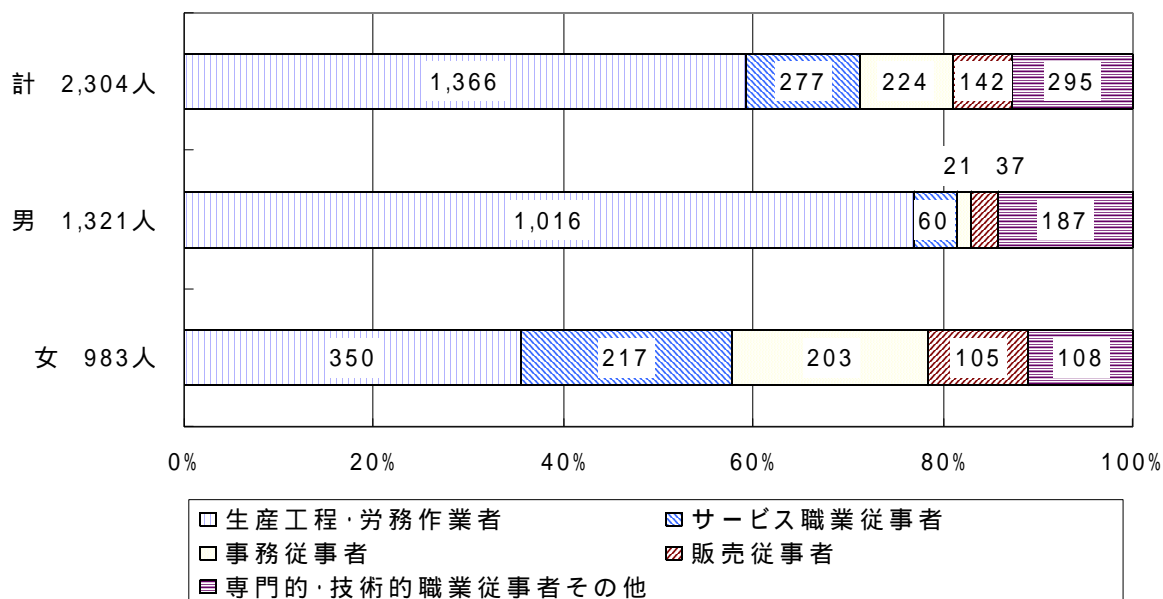
就職先の都道府県別就職者数

就職者のうち県内に就職した者は 2,048人(男子1,178人、女子870人)で、就職者全体の88.9%(男子89.2%、女子88.5%)を占めており、前年より3.0ポイント上昇しました。また、県外に就職した者は 256人(男子143人、女子113人)で、就職者全体の

11.1%(男子10.8%、女子11.5%)となっています。

なお、県外の主な就職先は京都府 108人、大阪府58人、愛知県21人、東京都16人の順となっています。

図 - 16 職業別就職者数(高等学校)



B 通信制課程

平成18年度間の卒業生数は354人(男子158人・女子196人)で、前年度間より18人減少しました。卒業生の進路別内訳は、大学等進学者 57人(男子27人・女子30人、卒業生全体に占める割合は16.1%)、専修学校(専門課程)進学者 48人(男子26人・女子22人、同13.6%)、専修学校(一般課程)等入学者2人(男子1人・女子1人、同0.6%)、公共職業能力開発施設等入学者2人(男子2人、同0.6%)、就職者66人(男子39人・女子27人、同18.6%)、左記以外の者 179人(男子63人・女子116人、同50.6%)、死亡・不詳の者0人となっています。

3. 盲・聾・養護学校卒業生とその進路状況

A 中学部

平成19年3月の卒業生数は盲学校 3人(男子3人)、聾学校7人(男子3人、女子4人)、養護学校96人(男子66人、女子30人)の合計106人で、前年より12人増加しました。

卒業生の進路別内訳は、高等学校等進学者104人(男子70人、女子34人)となっています。

主な進学先は特別支援学校高等部となっています。

B 高等部

平成19年3月の卒業生数は盲学校3人(男子2人、女子1人)、聾学校3人(男子1人、女子2人)、養護学校167人(男子100人、女子67人)の合計173人で、前年より14人増加しました。

卒業生の進路別内訳は、大学等進学者3人(男子2人・女子1人、卒業生全体に占める割合1.7%)、公共職業能力開発施設等入学者3人(男子2人・女子1人、同1.7%)、就職者 43人(男子25人・女子18人、同24.9%)、左記以外の者124人(男子74人・女子50人、同71.7%)となっています。